



14. 緑の船団 東克彰 (愛の野菜)

13. わかまつ農園 若松由加利 (甘夏洗剤・日本みつばちの蜂蜜・びわの葉茶)



鹿児島で農業を！2008年単身一隻の船(一枚の畑)から百姓デビュー。必要不可欠な菌と仲良し。微生物の力で、本当に美しく、びかびか！スタイルよく美味な野菜なのです。日々大地と触れ合う中で、感謝の念を忘れず、力抜いてスティックに日々邁進中。

わかまつ農園では有機農、自然の循環を考えた農法で育った野菜や果樹を使って、安心安全な食べものと暮らしのモノしがつくりません。みんなの笑顔と持続可能な暮らしを目指します。

16. 艸茅窯 [そうぼうがま] 川野恭和 [かわのみちかず] (青磁・白磁陶)

川野さんの器の美しさはその独特の穏やかな青白い色。使い込んで行くと、どんどん好きになっていく器です。瀬戸で陶芸を学び、会津若松にて瀧田項一さんに師事。現在、鹿児島県伊佐市で磁器の器を作る。日本民藝館の「日本民藝館展」の審査員(現在は退任)。国画会会員。



18. ALL THAT SPA (ジャパニーズネロリオイル) 美



だいたいの花から採れるネロリは、ホルモンバランスをも整え深いリラックス効果をもたらします。不眠、動機を落ち着かせ、不安、緊張などを和らげます。肌には保湿効果高く、細胞を活性化させるので、しわ、しみ、たるみにも効果的。最高品質のホホバオイルとネロリだけの究極のオーガニックオイルです。お顔、全身にお使いいただけます。



15. とりもと硝子店 島本雄介 (吹きガラス)

10種類に及ぶ、ガラス原材料を正確に調合。バランスよく調合することで、ガラスの強度、輝き、耐熱性、音の響きに至るまで、高いクオリティを追求し続けています。そのこだわりは、使い心地よい、まるでオーダーメイドのような作品です。



17. yoshinori nagashima 永島義教 (彫金カトラリー)



ステンレス、真鍮、アルミなどの金属を、1つ1つ手打ちし、様々な表情を作り出します。食べ物に口に運んだ時にその使い易さに驚きます。カトラリーというものを追求し続けた、仕事の繊細さが伝わる使う人の身になって出来上がった使い勝手の良いカトラリーです。

多摩美術大学工芸科卒業。東京藝術大学大学院修了。現在、東京都昭島市にて製作中。

19. MARapelar [マールアペラル] ヒラノマリナ (オーガニックスキンケア)

いつまでも美しくあるためのストレスフリースキンケア肌も心も癒すメディカルアロマ天然精油、オーガニックの原料を厳選。余分なものではできない限り省いて、自然のちからで肌本来の機能呼び醒ます。リピートしたくなるスキンケアです。

Marina Hirano [ヒラノマリナ] 2006 渡米。NYを拠点に、雑誌、コレクションなどを手がけたのち、「MARapelar マールアペラル」設立。



住



「と馳走生活」しましよー！

2019年

11時〜17時
月火定休 11/4(月・祝) 営業 11/5・6(火水休み)
10月25日(金)〜11月10日(日)

和 帆足本家 富春館
MUSEUM DAIDOKORO
FUSHUNKAN
Hoashi honke
since 1586

帆足本家の 台所美術館展

台所と美術館 まったくつながらない感じなのだけれど。。。。台所は↓人が集まる。だらんがあり、そこは笑顔が絶えない美味しいものを頬張ると、こころがいっぱい楽しくなる。だから、私たちの大切な台所を、「台所美術館」というネーミングにしました。朝起きてから、寝るまでの暮らしに喜びをもたらすもの。。。。私の周りの大好きな作家たちの素敵な作品が並びます。毎日の生活が嬉しくなりますように。。。。

帆足めぐみ

イベント 10月25日(金) 佐藤千香子さんのお話とワークショップ

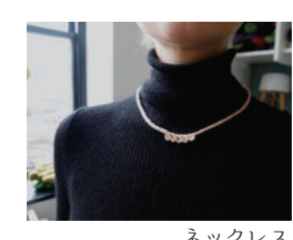
13:00〜14:30 「ブルガリアの民族衣装 色・素材・装飾」のお話



ブルガリアの焼き菓子「クラビヤ」とハーブティー付 定員:20名 会費:1,800円+税
エタル野外民俗博物館での工房の様子を写真や動画で解説、現地で収集した色彩豊かなテキスタイルもご覧いただき、出品作品のブローチ・ネックレスを紹介します。

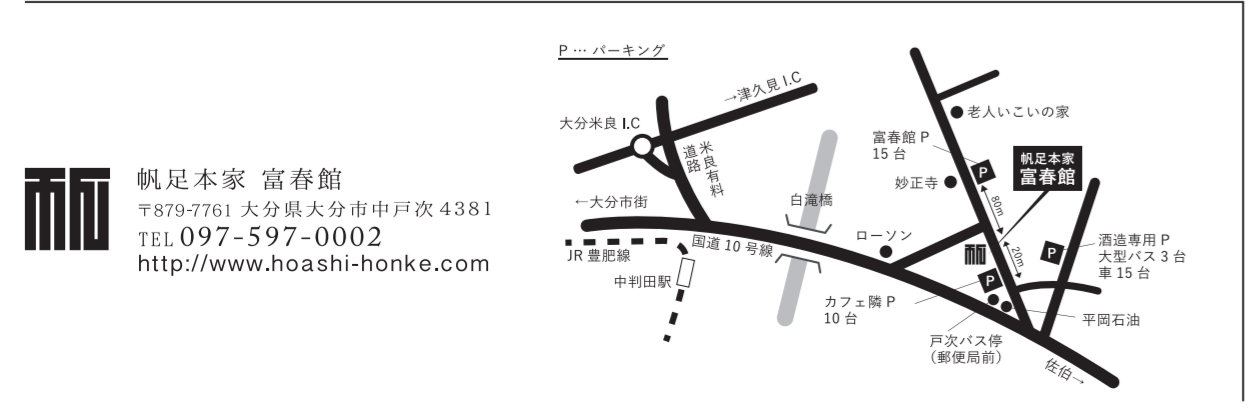
15:00〜17:00 ワークショップ 『羊毛紐のネックレス/ブレスレット/ブローチづくり』

ブルガリアのコード刺繍技法を応用し、佐藤千香子さんが手染めした「羊毛紐」Gamma / ガイタンを用いて手縫いで仕上げます。 定員:10名 会費:ネックレス 6,300円+税 ブレスレット 7,200円+税 ブローチ 4,500円+税 材料費込(糸切バサミご持参ください)



お申込の際に、「アイテムと色希望」をお伝えください。 ネckレス: グレー、ダークグリーン、ピンクベージュ ブレスレット: カモミール、スモークツリー、ブルガリアンレッド ブローチ: ホワイト、ブルー、グレー

イベントの予約: 09095963204(帆足)



和 帆足本家 富春館 〒879-7761 大分県大分市中戸次4381 TEL 097-597-0002 http://www.hoashi-honke.com

衣

1. ninono 二宮とみ (シャツ・肩掛け)

イギリス、染工場にて様々な技法を取得。興味あるものすべてが、五感にインプットされ消化し、飛び出した独特の絵は、ユニークで色鮮やかで魅了される。世界でただ一つのハンドプリントを手掛ける。このたびはユニークなモノクロ手描きシャツ発表。

日本テキスタイルデザイン協会会員・国画会準会員・女子美術大学準教授・桑沢デザイン研究所講師を経て nino works にて活動中。「染めのほん」出版。



2. TUKASA MIKAMI 三上司 (洋服)

グラフィカルだけど、少し和テイストの効いた、今っぽさにも惹かれる。グラフィックデザイナーの特徴を生かした大胆なテキスタイルが魅力。櫻井翔がモデルとなった人気のサークルシャツ・ドレスシャツなどもご覧いただけます。

桑沢デザイン研究所卒業。エイ・ネット、電通等に勤務後、デザイン事務所「xerographica LLC」を設立。



3. KEIKO NISHIYAMA 西山景子 (洋服)

東京とロンドンを拠点に活動するファッション・ブランド。「キャビネット・オブ・キュリオシティ (驚異の部屋)」をコンセプトに作り出される自然美と人工美が調和した幻想的なプリントがシグネチャー。植物、海の生物など、独特の絵の世界が魅惑的で魅了される。

女子美術大学卒業後、ロンドン・ファッションウィークにてコレクション発表。同年、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッション修士課程修了。



手紡ぎ手織りのアンティークリネンなどに、天然素材の糸でフリーステッチしています。詩や言葉をステッチしたものや、ふつふつと湧いてくる不思議な感覚、イメージを、布にたくします。使えば使うほど気持ちの良い布で、今回はエプロンやクロス、バッグやショールを作ります。

7. Hitomi Usutani 白谷瞳 (刺繍)



8. bijoux bizou momi えんどうもみ (ジュエリー・アクセサリ)

“台所”とアクセサリは一見、相反するものようです。が、“台所”を“日常”という言葉に置き換えてみると、私のアクセサリやジュエリーへの思いと重なってくるのです。私たちの生活の大部分である日常をいかに楽しむか？

“台所美術館”を、“もてなす”というキーワードで考えてみました。人を心地良く楽しませるセンスや礼儀をどうさじ加減するか。さりげなく陶元についた一粒の真珠、シュッと衣のディテールのように流れるネックレス、

月が顔をのぞかせたように見え隠れするブローチの付け方や、或いは思わず二度見するポケットブローチだったり…あの手この手で 家族やお客さまを目からもおもてなししたく、そして自らも一緒に楽しめるようにと 台所にアクセサリを持ち込みます。

10. 二天一流総本舗 井上正生 (革のバック・靴・スリッパ)

作り手が見えるお店で、お客様の使い勝手を一番に考えています。ご要望に合わせて靴や鞆などを製作し気軽にオーダーできます。様々な革の編み方・表情・色を工夫し、機能性とデザイン性を融合しました。

ドイツの製靴技術と靴をプロデュースする会社に技術者として入社。ドイツ人マイスターと一緒に働き技術を習得し独立。船橋に店舗を構える。



お客様の足に合わせた
オーダー靴 ご相談下さい！

外反母趾、靴が合わない好み色が欲しいなどはきやすく、おしゃれな靴をお好みでお作り致します。木型から作成するフルオーダーと色や素材のみ変更したセミオーダーが可能です。

作家在店日 10/25・26・27
(27日は12時頃まで在店します。)



5. FACTORY 野村塁 (ニット・洋服)

生地作り、染色、パターン、縫製、まですべて自分たちで手掛けています。「流行にとらわれず心地がよい」「シンプルだけれど、ちょっとユニーク」。肌に心地良いオーガニックな唯一無二の服。秋冬はアルパカ・ヤク、カシミヤなど、肌に優しい本物の温かさをお届けします。



6. Yoko Takeshita 竹下洋子 (ニット)

編むことと描くことで、人が纏う絵画を制作しています。服が着る人と共に、色んな場所へ出かけて行き人生の物語の中へ溶け込む、絵画インスタレーションです。

今回は、台所を舞台に、女性が家事で所帯染みたちから香り立たせる色気を、導き出すようなエプロンを、エロップンと名付けて制作しました。

ニットデザイナー、画家東京芸術大学大学院油画技法材料研究室終了後、1997年よりニットブランド Yoko Takeshita を始める。セレクトショップ、百貨店、ギャラリーなどで展示販売する。



4. Chikako SATO 佐藤千香子 (バッグ・ストール・ブローチ・フェルト・小物)

テキスタイルアーティスト。麻・絹・羊毛を染めて身に纏う布や造形作品を制作し国内外で発表。染色技師として活動したブルガリアのエタル野外民俗博物館で草木染や羊毛紐工芸の職人に伝統技術や年中行事に関連する手仕事を学ぶ。

近年、駐日ブルガリア大使館他の文化紹介ワークショップを企画、講師として活躍中。日本テキスタイルデザイン協会会員。



9. mayumi murasawa 村澤麻由美 (彫金アクセサリ)

2008年より彫金を始め、真鍮、silver、銅などの金属でアクセサリを制作。桐島かれんのショップ『House Of Lotus』にて扱われる。ダイナミックで、モダン。身に着けるほどに、ファッションの一部として溶け込む。



11. 青竹細工 桐山 浩実 (暮らしの道具としての竹籠・テーブルウェア・手提げバッグ)

竹の伐採から、籠編みまで、そのすべての工程を担う青竹細工。それは、人の暮らしを支える道具の原点。ひと編み、ひと編み魂を込めて編んでいく。まるで、ひとつの宇宙を編み込んでいるかのよう。籠から大地のにおい、自然が勢いよく一緒に運ばれて来る。カゴのカタチは暮らしのカタチ。暮らしのカタチがカゴになる。

べにや民芸店出品 日本民芸館展民芸協会賞受賞。大分県竹田市に工房を構える。



12. LIFE&DELI 富春館 普段のごちそう

食

1、帆足本家 富春館の景色を形にしたもの。
2、戸次ごぼうを使った食品。
3、日本の発酵文化を継承した調味料とエコロジーな食品。をテーマに身体にやさしい食品を選びすぐりました。帆足本家に伝わる蔵シリーズ、台所ブランドも新発売。

